


逸廊亭
順路


国宝（秘佛）薬師如来坐像　平安時代後期



霊明殿

霊明殿は、御殿内の唯一の仏堂で、仁和寺歴代門跡の位牌をおまつりしている。

明治四十三年（一九一〇）起工、翌年竣工した。

本尊は薬師如来座像、秘仏のため実態が不明であったが、昭和六十三年（一九八八）の調査で貴重なものであることがわかり、平成元年六月に重要文化財に指定、つづいて翌年六月には国宝に指定された。全高一〇・七センチ、平安時代後期の円勢・長円の作である。









黒書院

明治二十年御殿の焼失復旧のため、旧安井門跡の寝殿の遺構を移して黒書院としたもので、明治四十二年（一九〇九）に完成した。

裏には竹の間があり、表は柳の間、松の間、秋草の間及び上段の間によって構成されている。

襖絵は、昭和六年（一九三一）宇多天皇一千年・弘法大師一千百年御忌の記念事業として、堂本印象画伯によって描かれたものである。











